

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 17号)

2021年 3月 3日発行

兵庫のみ研究所

西部域ではレプトシリンダラスを主体としてリゾソレニア等数種の珪藻がやや多く確認されました。窒素は陸水等の影響が見られた地点や明石海峡部を除き、林崎新漁場中央以東で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後、それより西の海域では $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均 9.5°C 。昨年比 1.4°C 低く、平年比 0.3°C 高い。(塩分) 平均 31.80psu 。前回 (31.92) より約 0.1psu 低い。
 (栄養塩、珪藻) 沿岸では魚住以西、沖筋では二見西部以西において、レプトシリンダラスやリゾソレニアがやや多く見られた。ユーカンピアも同域で海水 1ml あたり $50\sim 150$ 細胞確認されるが、いずれの珪藻も細胞色素は薄く活力は低いと所感される。窒素は、二見東部地先～鋼管漁場周辺、明石海峡部で $2\sim 3 \mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋では林崎新漁場中央以東で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後であった。一方、林崎新漁場西部以西では窒素がかなり低い海水で低栄養の状況が続いている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.6	9.5	9.2	10.9
窒素	1.6	1.3	3.3	3.1
リン	0.32	0.29	0.30	0.42

(2/25)

※窒素の平均は別府を除く

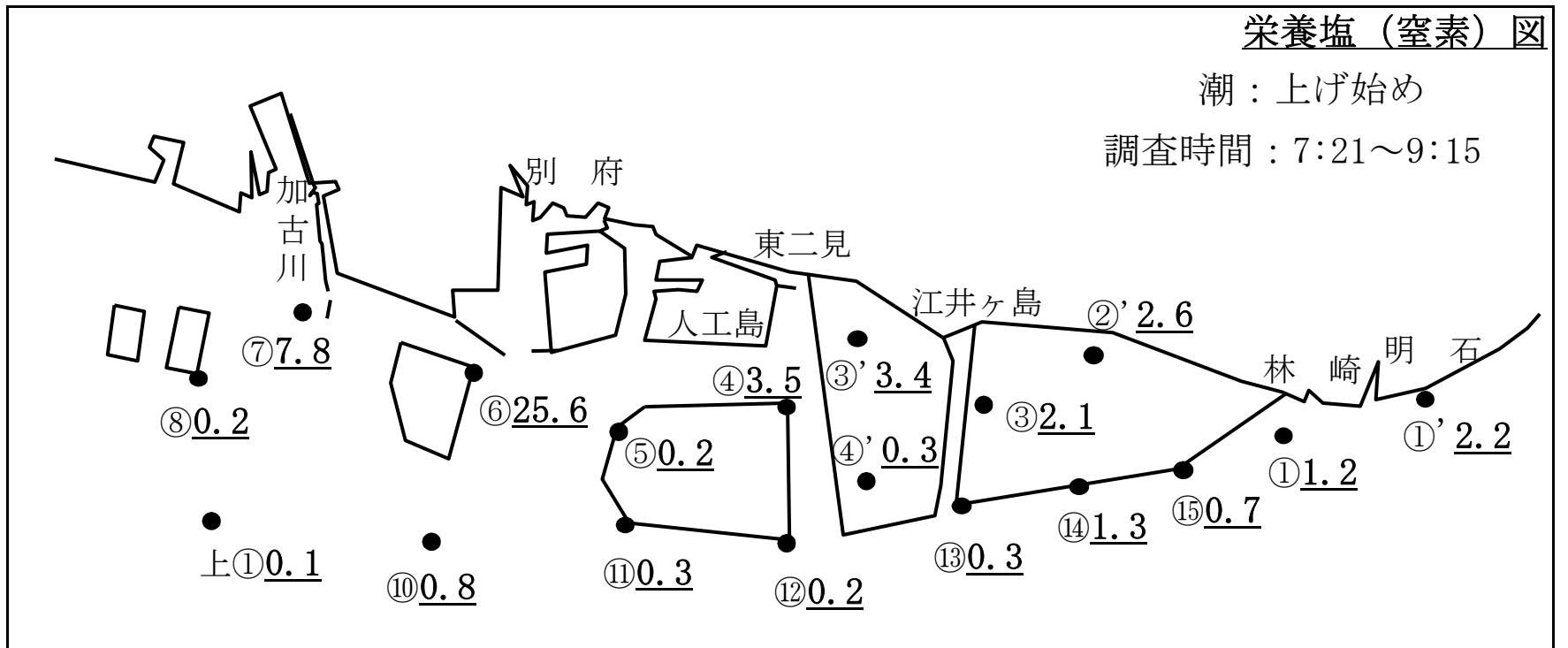
(3/6)

2021年 3月 3日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ始め

調査時間：7:21～9:15



水温図

